

NPO法人 介護サービス非営利団体 ネットワークみやぎ



目的 介護が必要な人にとって、安心して介護サービスを受けられることが最も大切です。私たちは、知恵と力を合わせ、良質な介護サービス提供と健全な事業運営のためにネットワークをひろげ、もって要介護者と介護者の人権擁護（尊重）、地域住民の福祉向上に資することを目的とします。

あけましておめでとうございます

介護ネットみやぎは「いつでも、だれでも安心して暮らせる社会をめざして」活動しています。

2007年、様々な分野で「安全・安心」がキーワードでした。これに反して年末恒例の「今年の漢字」には「偽」が選ばれてしまいました。介護サービスの分野でもコムスンが「偽装」をしていたということが大きな問題となりました。連座制適用で、利用者はじめ各方面に大きな影響がでました。

もうひとつのキーワードとして「ワーキングプア」があげられます。介護保険改定による介護報酬切り下げにより、事業運営は厳しさを増し、介護職員の給与は希望をもって働きつづけられる条件とはほど遠く、多くの人材が夢と希望を絶たれ、介護現場を離れています。

このような状況のなか、介護ネットみやぎは、参加団体の資質向上と健全な事業運営のために共同で研修を行い、情報を共有し、また介護保険が適正に運営されるために各方面に働きかけました。

2008年、厚労省は医療型病床を23万床から15万床に削減、介護型病床を全廃する計画を進めており、高齢者の状態に即した適切なサービスが提供される体制づくりのための「地域ケア体制整備構想」が各県ごとに策定されます。また、2009年の介護報酬改定に向けての準備がはじまります。

私たちは、介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」推進の活動にいっそう取り組みます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

NPO法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ
理事長 樋口 晟子

● 2007年度第4回理事会報告

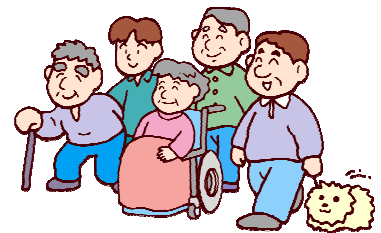
2007年度第4回理事会が2007年12月13日（木）13時30分から、フォレスト仙台2F第8会議室において理事10人監事2人事務局1人の出席で開催されました。

2007年度11月度決算、ホームページ、「情報の公表」調査事業の経過、第4回実務担当者会議（11/16）、第1回介護サービス第三者評価事業検討委員会（11/30）、成年後見研究チームの経過についての報告がありました。その後、全国老協協研修、介護ネットみやぎ理事・監事研修、情報の公表対応講座への参加報告と介護ネットみやぎ全体組織図が確認されました。

シンポジウム『介護保険改定を検証するー介護現場の今日を見つめ、明日を語るー(案)』と2008年度総会開催〔6月12日（木）〕についての2件を審議し、了承されました。

NPO法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ

事務局 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台3F
TEL 022-276-5202 ・ FAX 022-276-5205
<http://www.kaigonet-miyagi.jp/>
E-mail : kaigonet2@snet.coop.or.jp



介護ネットみやぎ参加団体 宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生活協同組合・生活協同組合あいコープみやぎ・松島医療生活協同組合・全国労働者共済生活協同組合連合会宮城県本部・みやぎ県南医療生活協同組合・JA宮城中央会・財団法人宮城厚生協会・宮城県高齢者生活協同組合・社会福祉法人仙台ビーナス会・社会福祉法人こーぷ福祉会・社会福祉法人宮城厚生福祉会・特定非営利活動法人ゆうあんどあい・特定非営利活動法人WACまごころサービスみやぎ・特定非営利活動法人ひまわり・特定非営利活動法人ほっとあい・特定非営利活動法人グループゆう・協同組合日専連仙台・宮城県民主医療機関連合会・宮城県労働者福祉協議会・宮城県民医連事業協同組合

● 介護ネットみやぎ理事・監事「視察研修会」報告

開催日時 2007年11月23日(金) 9時30分～12時

視察先 さっぽろ高齢者福祉生活協同組合「イリスもとまち」

応待：理事長 河原克美さん、専務理事 小松徹人さん

参加者 介護ネットみやぎ理事・監事など15人

視察研修内容

1.「設立の経緯とこれからの取り組み展望について」…河原克美理事長

高齢者福祉の充実を図る活動として、生活協同組合による介護付き有料老人ホーム「イリスもとまち」の設立経緯と開設後の事業運営の状況について説明を頂きました。

2.施設見学 居住スペースなど各部屋の状況や移動式の温冷機能を備えた配食用什器などを見学しました。

3.交流 職員の就労状況・研修、入居者との関係作りなど施設運営の状況や今後の展望などを交流しました。

4.その他 視察研修終了後、参加者の皆さんから、「まとめの会」の要望が出され、12月13日(木)の第4回理事会終了後、開催する方向で参加者への出席確認を行いました。

● 「理事・監事 視察・研修会 “まとめの会”」開催

日時 2007年12月13日(木) 15:30～16:30

場所 フォレスト仙台2階第8会議室

出席者(敬称略・順不同)

樋口理事長、齋藤副理事長、嵐田・横濱・蕪武・齋藤各理事、
渡辺監事、入間田・芳賀・寺岡(事務局)



介護付き有料老人ホームイリスもとまち

視察・研修会「まとめの会」開催について

有料老人ホーム「イリスもとまち」の視察研修を終え、参加された方々の率直な感想や意見を交流し、今後の活動の推進のために「まとめの会」を開催しました。

「まとめの会」で出された感想・意見(要旨)

〈感想等の交流〉

- ・高齢者福祉のために生協を設立し、有料老人ホームを立ち上げた事は評価できる。
- ・生協としてこの取り組みを行った意味は大きい。
- ・介護の軽重にかかわらず受け入れて、コーディネートしているのは生協らしくて素晴らしい。
- ・開所以降『看取り』の不安を受け止めてくれる所となっており、他では出来ない取り組みと思う。
- ・経営は厳しいと思われるが努力されていることが伺える。
- ・居室が狭いと思った。

〈今後に期待したいこと〉

- ・遊びの空間や緑地など施設内外の環境への配慮。・掲げた「理念」を貫き通すための人材育成。
- ・施設を支える職員の待遇の見直し等。・地域福祉の中核的役割とその推進。



研修交流風景



施設内の様子

● 第1回介護サービス第三者評価事業検討委員会報告

開催日時 2007年11月30日(金) 15:30~17:00

会場 介護ネットみやぎ事務所 会議室

出席者(敬称略・順不同)

検討委員：蘓武昌春、佃 十尚、齋藤境子、渡邊礼子、袋 伍子 事務局：入間田、芳賀、寺岡
内容 宮城県における「福祉サービス第三者評価事業」の取り組みを、宮城県福祉サービス第三者評価推進機構の岡田光悦さんから、以下の内容で報告いただきました。

①現状の取り組みについて

■「福祉サービス第三者評価」受審促進の取り組み…広報・啓発活動

県内事業者(567事業者)に受審啓発パンフを配布し、2事業者から問い合わせがあった。

■評価機関認証…宮城県社会福祉協議会(児童福祉施設)、(株)福祉工房(障害者・児施設、児童福祉施設)、一万人市民委員会(定款変更を終えてから活動)の3団体が認証された。

②今後の取り組み計画について

■評価調査員養成講座の開催…平成20年2月下旬開催予定

■評価対象種別の拡大…介護分野の評価基準策定を行い、評価対象種別を増やす。

*「救護施設・老人ホームなど」の内、養護老人ホームと軽費老人ホームの基準策定は1月。

<情報>

成年後見制度・まもり一ぶに関する情報収集と

「市民後見人」研究チームの取り組みについて

1、取り組み計画

「市民後見人」の取り組み状況の共有化と先進事例の調査視察を進めます。

①仙台市・宮城県内における、権利擁護の実情や成年後見制度のサポートシステム等の情報収集とその研究。(各行政の取組み、仙台市成年後見サポート推進協議会、まもり一ぶの活動等)

②先進的取り組みの視察研修等。視察では、「あんきネット」(NPO法人あいちらしと権利協同ネット)を検討しています。

2、「市民後見人」研究チームの構成・研究チーム・協力体制等 (敬称略・順不同)

「市民後見人」研究チームメンバー

齋藤 昭子 介護ネットみやぎ副理事長

横濱 敬子 介護ネットみやぎ理事

神谷 富子 シニアライフアドバイザー

市橋 章子 食事サービス「ふたばの会」代表

須藤 敏子 みやぎ生協福祉文化事業部統括

協力者(成年後見制度等のアドバイザー)

赤松 實 (弁護士) 宮城福祉オンブズネット「エール」理事長

安田 廣治 (司法書士) 成年後見センター・リーガルサポート宮城支部長

岩淵 徳光 (仙台市成年後見総合センター副所長 仙台市権利擁護センター(まもり一ぶ仙台))

事務局

入間田範子 介護ネットみやぎ事務局長

寺岡 良一 介護ネットみやぎ事務局員

● **第2回情報の公表調査事業推進委員会報告**

2007年度第2回情報の公表調査事業推進委員会が2007年12月19日(水)13時30分から介護ネットみやぎ事務所において、推進委員5人の参加で開催されました。

「情報の公表」の調査経過、調査事業所アンケート、調査実務向上検討委員会、調査員研修、「情報の公表」苦情解決の第三者委員委嘱についての報告と、07年度11月度の収支計算書、公表センターと5調査機関の打合せ会、次年度の調査予定サービスについての報告がありました。

● **「情報の公表」調査員研修会開催**

第4回調査員研修会

11月30日(金)、10時30分からフォレスト仙台5F501会議室において、調査員34人の出席で開催しました。

初めに、入間田範子事務局長が平成20年度「介護サービス情報の公表」の改正予定事項(①対象サービスの追加 ②調査票の改定 ③報告・調査・公表の方法 ④事業所報告のWEB化 ⑤公表画面デザインの見直し ⑥年度間の比較が可能)と調査員同士で確認統一すべき調査項目について説明しました。次に、NPO法人コミュニティケア研究所の「災害時の在宅介護サービス事業者による要援護者への避難支援・安否確認の行動ガイドと支援策についての調査研究事業報告書」をもとに災害時において事業者と私たちができる取組みについて説明しました。また、第2次宮城県地震被害想定調査の結果や石巻市の「要援護者情報の収集・共有、避難支援プラン策定」の取組み事例を挙げ、これからの災害に備えてそれぞれの地域でできる防災ネットワーク作りの必要性を学びました。

午後からは、調査員が6つのグループにわかれ、コーディネーターを中心に全員自己紹介後、「一人一人が調査員として、これまでの調査における事前の電話対応から、調査当日の事業所での態度や行動で、よかったとおもうこと、反省すべきこと、また、自分自身のことだけではなく、同行の調査員についても、違和感を感じたことなど」をカードに記入して、グループごとにカードの内容を分野ごとにわけタイトルをつけてまとめ発表しました。積極的に話し合いが行われ、いろいろな意見がでました。このまとめをもとに、向上検討委員会が次年度に向けて「調査員の接遇マニュアル」を作成します。

● **2007年度「情報の公表」の苦情解決の第三者委員会**

2007年度の介護サービス「情報の公表」苦情解決の第三者委員会が2007年12月12日(水)、11時からフォレスト仙台3F介護ネットみやぎ事務所において開催されました。

樋口晟子理事長から、関谷登さん(東北学院大学副学長)、井野場晴子さん(弁護士)、武田美津子さん(民生委員・みやぎ生協名誉理事)に委嘱状が手渡され、2007年10月11日から2年間の第三者委員をお引き受けいただくことになりました。

第三者委員設置の目的	介護サービス「情報の公表」の苦情解決に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員を設置する。
苦情相談窓口について (TEL022-276-5201)	① 名称を介護ネットみやぎ「情報の公表」苦情相談窓口とする。 ② 苦情相談窓口は介護ネットみやぎ事務局におく。 ③ 苦情相談担当者は第三者委員への報告を必要としている内容について文書でまとめ報告する。
(「情報の公表」苦情解決の第三者委員に関する要綱抜粋)	

シンポジウムのお知らせ

介護保険改定を検証する

日時 2008年2月9日(土) 11:00~16:00
場所 仙台市シルバーセンター第2研修室
仙台市青葉区花京院1丁目3-2
参加費 1,000円
参加者 100人

「介護現場の今日を見つめ、明日を語る」

1部 基調報告「介護保険改定を検証する」
講師 服部 万里子さん
立教大学教授・服部メディカ研究所所長
2部 現場からの報告 嵐田光宏さん 中村祥子さん 佃十尚さん
3部 報告者によるパネルディスカッション
助言者 服部 万里子さん